



【東大阪市版】

事業所エコだより

東大阪市では事業系ごみの削減に向け、大規模事業者による再資源化実績、また事業者による資源化の取組みなどをご紹介します『事業所エコだより』を創刊しました。

発行：環境部 循環社会推進課

〒577-8521

東大阪市荒本北1丁目1番1号

TEL：06-4309-3199(直通)

FAX：06-4309-3818

E-mail：junkanshakai@city.higashiosaka.lg.jp

HP：http://www.city.higashiosaka.lg.jp

東大阪市循環社会推進課

検索



事業者によるごみ削減の取組みについて取材しました



特定事業者による廃棄物処理実績

特定事業者とは…

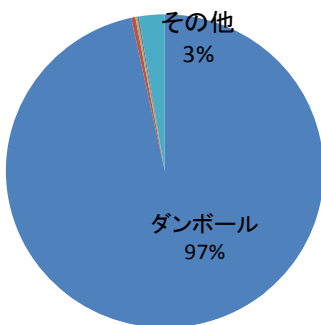
- (1) 1,000㎡以上の店舗面積を有する店舗をもって小売業を営む者
- (2) 患者200人以上の収容施設を有する病院を開設している者
- (3) 学校教育法に規定される高等学校、大学及び短期大学を設置している者
- (4) 3,000㎡以上の延べ面積を有する興行場、遊技場、集会場若しくは旅館においてそれぞれこれらの営業を行う者又は3,000㎡以上の延べ面積を有する事務所において業務を行う者

平成27年度に特定事業者から排出された一般廃棄物の発生量は19,954トンで昨年度より2,237トン増加しております。しかし、再利用率は11,771トンで、昨年度より1,998トン増加しました。この結果、廃棄物の再利用率は59.0%で、昨年度より3.8%増えました。東大阪市では、焼却処理量削減率の目標を20%から23%に修正し、再資源化を推進しております。各事業者様におかれましても、資源の有効利用にご理解いただくとともに、今後もリサイクルの推進にご協力をお願いいたします。次回以降も取材記事の掲載を続ける予定ですので、「こんなことが知りたい!」「うちの取組みを紹介してほしい!」といった声があれば是非ご連絡ください。

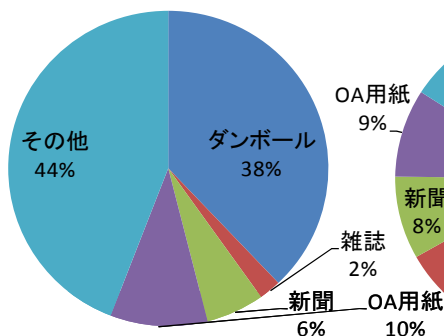
廃棄物種類	発生量(トン)	処理区分			
		再利用率(トン)	廃棄物処理量(トン)	再利用率(%)	
一般廃棄物	ダンボール	9,372	9,335	37	99.6
	紙類				
	雑誌	350	299	51	85.5
	新聞	127	125	1	99.1
	OA用紙	234	182	52	77.7
	その他	624	288	336	46.2
	紙類小計	10,706	10,228	477	95.5
厨芥類(茶がら・残飯等生ごみ)	6,047	568	5,479	9.4	
その他	2,384	363	2,020	15.2	
小計	8,431	932	7,499	11.1	
一般廃棄物合計	19,137	11,160	7,977	58.3	
その他	びん類	143	93	50	64.8
	かん類	187	166	20	89.1
	プラスチック類	325	217	107	66.9
	その他	162	134	28	82.6
	小計	817	611	207	74.7
総合計	19,954	11,771	8,183	59.0	



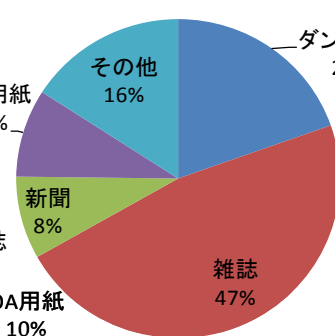
業種別紙類の廃棄物発生状況



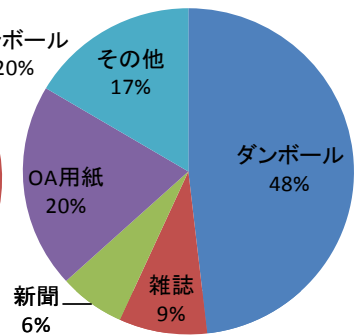
店舗



病院



学校



興行場、事務所等

事務所での取組み事例 ~近畿車輛株式会社~

CSR(社会的責任)に関する取組み

ISO14001の認証を取得し、環境方針を制定し、コストダウン及び省エネ・省資源化を推進している。

リサイクルに関する取組み

①コピー用紙等分別回収、②梱包養生材の回収再利用、③仕入れ先の協力による納品梱包を木枠から金属製通い箱への切り替えを行い、リサイクルや再利用を推進している。

ごみ排出削減の徹底

①塗装設備改善による塗料ロスの削減、
②切断システムによる素材保留の向上、
③副資材の使い切りによる廃棄物削減、
④購買EDIシステムによるペーパーレス化を実施し、ごみの削減を徹底して行っている。



ごみ集積場



新聞・ダンボールの置き場



紙類の区分するための台車



↑
オフィス用紙などの置き場



店舗での取組み事例 ~上新電機(株)東大阪店~

CSR(社会的責任)に関する取組み

パソコン、デジタルカメラ、携帯電話などの買い取りや再生販売、太陽光発電の導入やLED化、再生紙利用と両面コピーの徹底、簡易包装の推進などを行っている。東大阪店では、廃棄物管理責任者である店長が率先し、省資源・リサイクルの取り組みを行っている。

リサイクルに関する取組み

バックヤードに廃棄ダンボールや販促資材などを一時保管している。パソコンなどの下取り品は、上新電機の再生工場に搬送され、リサイクルされている。買い替え需要により、下取りサービスの利用者は増えており、使用済み電球、電池類、インクカートリッジなどの回収も行っている。また、ダンボールは、回収業者に売却し、100%再生している。

○保管置き場



小型リサイクル家電品



使用済み電球、インクカートリッジの回収

